

2021年12月8日

各 位

株式会社ローソン銀行
東日本旅客鉄道株式会社

2022年春にローソン銀行が新たに提供するアプリから 「モバイルSuica」へのチャージが可能となります

株式会社ローソン銀行（東京都品川区、代表取締役社長 鶴田 直樹、以下「ローソン銀行」）と東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 深澤 祐二、以下「JR東日本」）は、キャッシュレスサービスをもっと安心・便利に利用したいというニーズにお応えするため、2022年春をめどに、ローソン銀行が新たに提供するアプリと、JR東日本が提供するアプリ「モバイルSuica」を連携することにより、銀行口座から「モバイルSuica」にチャージができるサービスを開始します。

ローソン銀行では、提携金融機関の口座から電子マネーにチャージができるアプリ（以下、「チャージアプリ」）の提供を開始する予定です。この「チャージアプリ」は、口座登録をする際に、ローソン銀行ATMでキャッシュカード等による本人確認（ATM認証^{*1}）を行うことを必須としており、ご利用者にとって安心・便利なサービスとなっております。

また、JR東日本が提供する「モバイルSuica」は、ローソン銀行が提供するこの「チャージアプリ」を通じて、ローソン銀行をはじめとした次の全8行からのチャージを可能とすることによりチャージ手段の多様化を進め、さらに便利に「モバイルSuica」をご利用いただけるようにいたします。

【本サービスにおける提携金融機関（12月8日時点予定）】

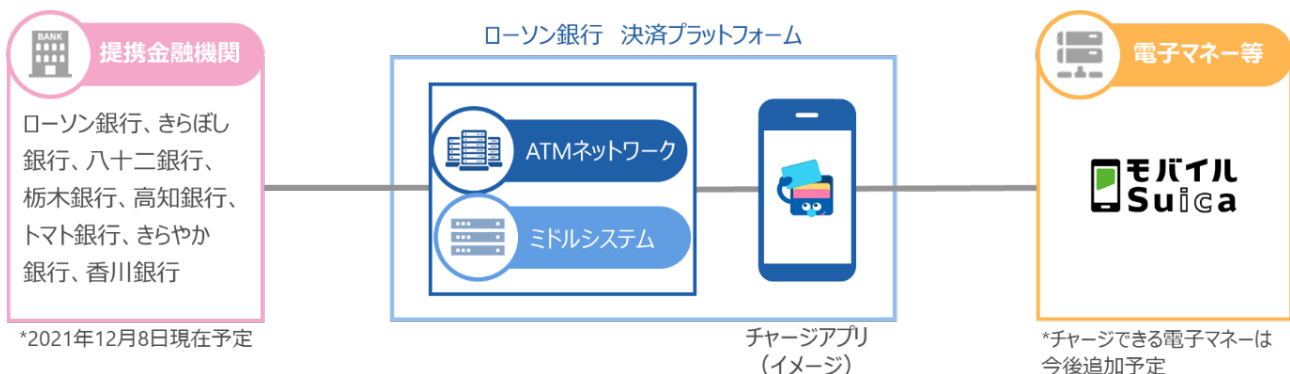
ローソン銀行、きらぼし銀行、八十二銀行、栃木銀行、高知銀行、トマト銀行、きらやか銀行、香川銀行。（「チャージアプリ」の提携金融機関は今後も順次拡大予定。）^{*2}

両社は、引き続き安心・便利なサービスを提供することを通じて、さらなるキャッシュレス社会の発展に向けて取り組んでまいります。

1 サービス開始時期

2022年春

2 サービス概要（イメージ）



*2021年12月8日現在予定

チャージアプリ
(イメージ)

*チャージできる電子マネーは
今後追加予定

3 「チャージアプリ」概要

- 「チャージアプリ」と連携する提携金融機関の口座から決済サービスへのチャージを可能とするアプリです。
- 決済サービスへのチャージ第一弾として、「モバイルSuica」と連携します。
- お客さまが「チャージアプリ」に銀行口座と「モバイルSuica」を登録した後は、アプリを操作することで、登録した銀行口座から、都度、チャージできるようになります。
- 「チャージアプリ」に銀行口座を登録する際には、ローソン銀行ATMで、登録する銀行のキャッシュカードなどを利用したATM認証を行ったうえで口座を登録することで、お客さまには安心・便利にご利用いただける環境をご用意いたします。

【「チャージアプリ」のイメージ】



【ローソン銀行ATMを利用したATM認証】



※1 株式会社ローソン銀行と株式会社横浜銀行が共同で特許出願中です。

※2 「モバイル Suica」へのチャージが可能な口座は、ローソン銀行が提供する「即時口座決済サービス」の提携金融機関の口座となります。

「即時口座決済サービス」の詳細はこちら (<https://www.lawsonbank.jp/product/charge/>) をご参照ください。

「即時口座決済サービス」は、株式会社ローソン銀行が特許出願中です。

※ 「Suica」・「モバイル Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

以上